



冷たい北風の中でも、木の枝の先には、少し赤みがかった新芽が小さくふくらんでいます。自然はいち早く春を感じとっているのですね。

子どもたちは鬼のお面作りを始めました。「鬼は外! 福は内!」元気な掛け声とともにおこりんぼ鬼や泣き虫鬼を追い出して、暖かい春を招き入れましょう。

新型に続き、季節性のインフルエンザが流行の兆しを見せています。「しっかり食事、ぐっすり睡眠」を心がけ、外から帰ったら手洗いというのを忘れずに。もうすぐやってくる進学、進級の季節を元気に迎えたいですね。



## 節分

「ツノはどうしようかな!」「髪の毛はどうしようかな?」子どもたちのアイデアがたっぷり!ととてもすてきな鬼のお面ができあがりました。飾ってみると、お部屋はまるで鬼ヶ島!どこことなく子どもたちに似たお面からは、一人ひとりの個性があふれだしています。「鬼は外! 福は内!」節分の日には、元気なかけ声が響き渡ることでしょ。豆まきで、自分の中のちょっと苦手な鬼を退治し、たくさんのお福を呼びいれるといいですね。



## 保育所児童保育要録の送付が始まります

小学校などに就学する保育園児童に対する「保育所児童保育要録」の作成が義務付けられ、小学校などへ送付することになりました。これは、昨年4月から施行された「保育所保育指針」に基づき、子どもの育ちを支える資料として保育園が作成するものです。対象は、今年4月に小学校などへ就学する保育園児童全員で保育園から就学先の小学校などにお渡しする予定です。

## 2月の予定



- 3日(水) 節分の日会
- 4日(水) 体育指導(ぼんだ・くま・らいおん) 園内職員研修
- 9日(火) 避難訓練
- 10日(水) 調理保育(らいおん)
- 12日(金) 調理保育(くま) 職員会議
- 16日(火) マジックショー
- 17日(水) 0歳児健診
- 19日(金) ひな人形飾り
- 18~22日 身体測定
- 23日(火) 富士見小学校見学(らいおん)
- 24日(水) お誕生会
- 下旬~ 新入園児説明会



## 第三者評価

利用者調査アンケートへのご協力ありがとうございました。アンケート結果・第三者評価の結果につきましては、評価機関から結果が届き次第冊子・ホームページにてご報告させていただきます。



## おねがい

利用者調査につきましては、毎年実施することが東京都で義務付けられています。保護者の皆様にはお手数をおかけいたしますが、よりよい保育園づくりのため、ご協力の程よろしくお願いいたします。

# 「父性」と「母性」

父性と母性は「性別」ではなく「役割」

母性が大事とか、父性復権とかさまざまに言われますが、「母性」「父性」という言葉について、正しく理解している人は意外と少ないようです。では、「父性」「母性」とはいったいなんでしょうか。これをごく簡単に言うと、子どもと接するときの親の立ち位置の違いといえます。

## お母さん・お父さんが両方を持ち合わせる

近年、お母さんと子どもの関係が強調され、母性愛という言葉が独り歩きする傾向があります。ところが、母性とはどんなものが、正しく理解している人はあまり多くないのではないのでしょうか。

本来、母性、そして対になる父性は心理学の言葉です。子どもとの接し方、距離のとり方の特徴の呼び方であって、性別とはなんら関係はありません。そして、母性的なものと父性的なものというのは、男性・女性に関係なく、だれもが発揮できるのです。実際、お母さんでも時に父性的に、お父さんが母性的に、子どもと接することはよくあります。むしろ、子どもの状態によって対応が変わるのは自然なことです。

呼び名にこだわらず、適切に子どもと接したいものです。

ただ、「母性的なものが伝わったあとに、父性的なものが伝わる」という原則はとても大切です

## しかるときはしっかり、あとに長引かせない

しかるときは、しっかり、はっきり伝えます。日常いっしょにいるお母さんより、お父さんにしかられるほうが、子どもがこわがることが多いため、よく「お父さんにしかってもらおう」と言う人がいますが、必要なときは、お母さんもしっかりしかることが大切です。

## 応える

子どもが冒険を終えて戻ってきたときは、しっかりと応えます。



## 父性

一歩引く 傍観的

※父性が強すぎると、幼児性と攻撃性が出てくる…

## 母性

子どもと 近い 受容的

母性とは、子どもの近くにおいて、包み込むように子どもを受け止める存在です。女性がもともと母性で考える人もいますが、それよりも、赤ちゃんとのふれ合いのなかではぐくまれる関係と考えたほうがわかりやすいでしょう。

※母性が強すぎると、甘えん坊で自立できない…



## 母性と父性はバランスが大切

でも実は、あまり考えすぎず、子どもと普通に接していれば、だれでも自然に母性と父性を切り替えているものです。

父性とは、母性とは対照的に、子どもと少し距離をもって見守るスタンスをさします。子どもが自分の力で何かをしようとするときに、手を貸さずに見守るなど、独立心をもった子どもに対する姿勢です。

## 見守る



独立心が出てくると、干渉を嫌がって自分で何でもやりたがります。心配でも一歩引いて、子どもの独立心を尊重したいところ。子どもが失敗したときには、「だから言ったじゃないの」と言わず、受け止めてあげましょう。

## しかる

いけないことをしたときには、小言やぐちではなく、はっきり、しっかりしかります。



子どもの状況によってさまざまな立ち位置から見守ることが大切です